



2020年2月20日(木) 17:00~18:30

先端酵素学研究所

藤井節郎記念ホール

左右非対称性が生じる機構の多様性

理化学研究所 生命機能科学研究センター

濱田 博司 博士

生物の体は、胚発生の過程のいくつかのステップを経て、左右非対称になります。近年、非対称になる機構が明らかにされつつありますが、種々の生物を見ると共通するステップと多様性が高いステップがあります。中でも最も多様性が顕著なステップは、対称性が破られる機構です。脊椎動物を見ると、魚類・両生類・哺乳類は、回転する繊毛とそれによって生じる一方方向性の水流によって対称性が破られますが、爬虫類や鳥類は繊毛に依存せずに対称性を破ります。ここでは、マウスにおいて繊毛・水流によって対称性が破られる仕組みと、爬虫類や鳥類が繊毛を使わずに非対称性を生じる機構について、紹介します。

教職員、大学院生、学部学生等、興味を持つ全ての方のご来聴を歓迎致します

お問合せ先： 先端酵素学研究所セミナー運営委員会

(第40回 担当：発生物学分野・竹本龍也 (内線 7915))

takemoto.tatsuya@tokushima-u.ac.jp

主催：徳島大学先端酵素学研究所

共催：文部科学省共同利用・共同研究拠点事業